

令和7年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	骨髄移植普及促進事業				事業番号	011-261	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療業務		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 29 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、NPO		
6	事業の対象	堺市民（特に18歳以上54歳以下の骨髄ドナー登録が可能な方をはじめとする市民）	対象数	単位
			約81万	人
7	事業の目的	広く市民に対し、骨髄移植への理解を深め、ドナー登録協力への意識を醸成するとともに、ドナーが骨髄を提供しやすい環境整備を行う。		
8	事業内容	骨髄移植は、白血病等の血液疾患に対する有効な治療法の一つであるが、骨髄移植には患者とドナーのHLA型（白血球の型）の適合が必要であり、適合率は、非血縁者間では数百～数万分の1の確率で、かつ、適合した場合であっても、ドナー側の様々な事情等により、実際に移植を受けることができる方は約6割に留まっている。 こうした状況をふまえ、事業の協定先であるNPO法人関西骨髄バンク推進協会をはじめ、大阪府や日本赤十字社、市内学生等との協働・連携を強化しながら下記事業に取り組む。 ① 骨髄移植の理解促進（普及啓発イベントの実施等） ② ドナー登録者増加のための取組み（献血併行型ドナー登録会の効果的実施） ③ ドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備（骨髄ドナー支援金事業の実施）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	①国・府が未実施である骨髄ドナーに対する支援金事業（通院5千円／日、入院2万円／日（上限14万円））を実施 ②ドナー登録や普及啓発等を積極的に推進するため、NPO法人と協定を締結		
9	主な支出先	骨髄ドナー		
10	公民連携・協働事業	NPO法人、大阪府、日本赤十字社、市民、学生等と協働し、普及啓発イベントやドナー登録会の実施		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	献血併行型ドナー登録会での新規登録者数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	400	394	314	314
			実績値	352	220		
			達成率	88%	56%		
当該指標を選定した理由	ドナー登録者が増えるほど、骨髄移植を必要とする患者を多く救うことができ、また、骨髄移植に対する市民理解度を図ることができるため						
目標値の設定根拠・算出方法	過去2年の実績平均値の10%増を目標値に設定。						

12	活動指標	単位		実績		目標	
	ドナー登録会の開催回数	回		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	60	60	50	
			実績値	46	47		
			達成率	77%	78%		
当該指標を選定した理由	ドナー登録を効果的に増やすには、献血と併せて実施する登録会を増やすことが有効であり、また、登録会は普及啓発の場でもあるため						
目標値の設定根拠・算出方法	過去2年の実績値平均をふまえ、年間50回（4回/月の実施）を目標値に設定。						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	骨髄移植普及促進事業	事業番号	011-261
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,187	2,799	4,035	1,683	4,502
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（事業費、積立金）	1,177	2,782	4,015	1,683	4,372
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	10	17	20	0	130
14	人件費（b）	820	810	810	810	840
15	年間経費（c）=(a)+(b)	2,007	3,609	4,845	2,493	5,342

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	ドナー支援金	R6	決算	420	0	謝礼金	R6	決算	121	0
		R7	予算	1,400	0		R7	予算	635	0
	基金積立	R6	決算	759	0	委託金	R6	決算	297	0
		R7	予算	1,400	0		R7	予算	800	0
	通信運搬費	R6	決算	3	0	使用料及び賃借料	R6	決算	0	0
		R7	予算	40	0		R7	予算	0	0
	旅費	R6	決算	5	0		R6	決算		
		R7	予算	97	0		R7	予算		
	需用費	R6	決算	78	0		R6	決算		
		R7	予算	130	130		R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 献血併行型ドナー登録会での新規登録者数	人	352	220
	② 上記①にかかる年間経費	千円	2,789	2,493
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,923	11,332
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	骨髄移植に係る普及啓発活動やドナー登録会については、NPO法人や日赤等との協働により実施し、事業経費の大部分を占めるドナー支援金については、寄附金を原資としているため、費用対効果は高い。 令和6年度より、企業版ふるさと納税クラウドファンディングを新たに実施し、寄附金の増額を図る。また、若者のドナー登録者の増加に向け、特に若い世代の骨髄バンクに関する認知、理解を中心とした啓発を実施する。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	NPO法人や日赤等との協働により、一定の新規ドナー登録者数を確保できた。また、ドナーが骨髄等を提供しやすい環境整備を目的としたクラウドファンディングを活用したドナー支援金事業の実施により、市民の骨髄移植への理解促進とドナー登録協力への意識の醸成に寄与したものと考える。
----	--